

議会運営委員会等の先進議会調査報告

議会運営委員会及び議会広報特別委員会が先進議会の調査を行いました。

9月定例会で各委員会から報告書が提出されましたので、その概要についてお知らせします。

議会運営委員会

静岡県湖西市「7月26日」

▼政務活動費

湖西市議会では、議員の調査研究活動の活性化や資質向上を図り、議会活性化につなげるため、平成27年度から政務活動費を導入した。その運用マニュアルにおいては、ウェブサイトに運営費用や広報誌発行・配付のための費用など、政務活動と議員の選挙活動とのすみ分けが曖昧になる可能性があるものは除くといった厳しい運用を行っている。

地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大する中で、地方議会が担う役割はますます重要となっている。地方議会の活性化を図るためには、その審議能力の強化が不可欠であり、議員の調査活動基盤の充実を図る観点から岩沼市議会においても政務活動費は必要であると考え。また、その運用に当たっては、疑義が生じるような経費、特に政務活動との区分が明確にできない可能性のある経費はあらかじめ支出できないものとして取り扱うなど

厳格な運用が必要である。

静岡県袋井市「7月27日」

▼代表質問

袋井市議会では、平成25年度の議会改革特別委員会において議会基本条例を検討する中で、会派としての政策提言の必要性があるとされたことから、27年度から代表質問を導入した。

袋井市議会における代表質問は9月定例会の決算の状況を踏まえ、11月定例会において、一般質問に先立ち、翌年度の市政の運営に向けて、会派の政策提言・提案を行うという趣旨で実施している。質問は、1会派につき代表1人が行い、質問者は会派代表者に限定していない。また、一問一答方式と一括方式の選択性をとるなど、岩沼市議会の代表質問とは異なる内容となっている。

岩沼市議会においても、今後さらに、市政についての議論を深め、代表質問に臨めるよう、袋井市議会などの取組を参考に様々な手法を研究し、制度の見直しも含めて代表質問のあり方を検討すべきであると考え

議会広報特別委員会

岩手県八幡平市「8月21日」

▼議会からの情報発信

八幡平市議会では無料で利用できることから、録画映像の発信にYouTubeを利用しているが、無料動画配信サイトの利用による事務量の増大や専門的知識を有する職員の配置、配信の安定性など種々課題も生じている。

また、八幡平市議会のインターネット中継の視聴回数が当初よりも年々減少しており、2〜3分の動画は視聴回数が伸びるが、長時間の動画は誰も見ないというデータもある。

岩沼市議会としても、「市民に開かれた議会」の実現と情報公開のツールとして議会の映像配信を行うことは、大変有意義なことであり、情報公開の観点から早急に取り組まなければならない。

外部に委託することもある意義な手段であり、また、視聴していたくための工夫も研究していかなければならないと考える。

岩手県奥州市「8月22日」
▼多様なメディアを活用した情報発信

奥州市議会の情報発信は、多彩で、市議会だよりの発行、議会中継のインターネット配信（ライブ、録画）、ケーブルテレビによるライブ配信、ホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）での発信、FM放送による議会情報の発信、「マチイロ」を活用した議会だよりのスマートフォン向けの発信を行っており、情報公開の視点にも着目したさらなる情報発信の強化に努め、今後も時代のニーズに合った取組をしていくこととしている。

岩沼市議会では、できることから始めるという発想のもと、フェイスブックによる情報発信を行っており、また、議会の録画中継も動き出そうとしているが、市民の誰もが議会の情報をいつでも得られる仕組みづくりは、今の時代において必須と言えることから、さらなる情報発信のあり方について、継続的に検討していく必要があると考える。